

事業所における自己評価結果(公表)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか		○		基準以上ではあるが、より多くの職員が必要に感じる
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		裏玄関はバリアフリーは必要
業務 改善	④	業務改善を進めるためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	行っていない。今後は必要に応じて検討
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適 切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		より統一したアセスメントツールを導入できるとよい
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設置されているか	○			
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に計画を立てて指導員で協力し合い行っている。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当クラスに分けて行っている。
	⑭	活動プログラムの立案が固定化しないよう工夫しているか	○			週単位で考え、固定化しないようにしている。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			粗大、微細活動を工夫して1人1人に応じた支援計画を作成している。

	⑯	支援開始名には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝打ち合わせをして、その日の予定に確認をしている。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打つ合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			週に2回必ず行い、クラスごとに子どもたちの成長の変化や今後の課題など細かい部分を全員で共有している。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか	○			毎日支援日誌を付けて記録を取り、支援の検証・改善につなげている。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にそれぞれモニタリングを行い、計画を見直すなど検討している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者が参加し、会議を行っている。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			必要に応じて支援センターや幼稚園、保育園と連携をとり、情報共有し支援を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	対象のお子さまがいない。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	対象のお子さまがいない。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			情報共有が必要な子については、連携を図っている。
	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	情報共有をするなど連携をしているが、まだ十分ではないと感じている。他事業所と連携を深める必要がある
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	園とはないが、児童館などでのかわりがある
	㉘	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			担当者が参加している。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳だけでなく、送迎時に対面でぶりえでの様子やお家での様子を聞き共有している。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニングは行っていないが、かわり方の助言等を保護者様に伝えている。
	㉛	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			児童発達支援管理責任が契約の際に説明を行っている。

保護者への説明責任等	③②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			児童発達支援ガイドラインに基づき、支援計画と説明を児童発達支援管理責任が行っている。
	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者さんから相談があった際は、適宜すぐに対応している。その際はきちんと時間をとり、じっくり相談内容を聞き、助言や対応方法等を話し合っている。
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会はないが、行事でのかかわりをもつ努力をしている
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			直接会うことが難しい場合は、電話でお話をしたり、内容によってはコミュニケーションツールを活用したりして迅速に対応できるよう心がけている。
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
非常時の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			冬季での実施は行えているが、夏季での実施を来年度検討している
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			非常災害の発生に備え、火事や地震、不審者が侵入してきた際等、様々なことを想定して訓練の計画を実施している。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約の際のアセスメント時に、児童発達支援管理責任が病歴等細かい部分を確認している。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アセスメント時に確認をしている。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所独自に作成して随時共有している。また今後起きないために改善方法も検討し注意している。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			県の研修以外に、導入しているシステムでの虐待防止や身体拘束禁止についての研修を行い、職員間で共通認識を持っている。
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			契約の際に、重要事項説明書に基づき、児童発達支援管理責任が保護者さんに説明を行っている。